

第34回 日釣連グレ釣りトーナメント3位

大阪府釣連盟 黒江 謙吾



新大阪荒磯クラブの黒江です。今大会はコロナの影響で3年ぶりに開催された大会でした。まずは初日通過できるか、せっかく参加できたのだから二日目も竿を握りたいという一心で策は有りませんでした、1試合1試合緊張して挑みました。

1試合目、対戦相手は和歌山の尾藤さん。場所は大石の船着きと表側に分かれて行いました。開始後20分程で1枚かけましたが続きませんでした。40分過ぎたくらいから足元でグレが見えだしたので何枚か追加できると思いきや、自分の釣りでは無理でした。

前半戦1-0で場所替え、あーやばい、表側の尾藤さんはかなり苦戦していたので自分はひよっとしたらこのかわいいグレ1枚で終わるかも。

後半戦開始早々、後ろを振り向くと案の定、尾藤さんが掛けていました。そして数分後振り向くとまた掛けてる。このまま大差を付けられると思っていましたが、その後グレ達は姿を消したらしく、自分はその後たまたま通りかかったコナガちゃんを追加できました。結果2-3、重量勝ち(数負け)でした。ラッキーでした。

2試合目は兵庫の荒川さんとご一緒させていただきました。場所はオザキのロープ、まったりとした場所で、ロープの右左で1枚ずつの計2枚、荒川さんも苦戦されて、2-1で2勝目を頂けました。

3試合目は割亀のマナイタ、ご相手はヤングアングラーの多田尚樹君でした。この試合は明日への切符を手に入れる大事な一戦でした。

開始後40分程度経過して重たい仕掛けに変更、何とかの1投目にウキが消込んで40upをゲットできました。後半戦は釣果無しでした。一方多田君は後半1回バラシの後再び大きく竿を曲げて、やられた!と覚悟はしましたが上がってきたのは大きなチヌ君でした。結果は1-0、初日の結果は3勝で念願の二日目に残ることが出来ました。

そして、二日目はかなりウネリがあり使える磯が少なそうな状況でした。

準々決勝の対戦相手は和歌山の西さんでした。状況は非常に厳しく、お互い釣果ゼロでじゃんけんにより準決勝へ進むことが出来ました。

そして、準決勝お相手は同連盟の田揚さん、言わずと知れた強敵です。磯は昨日の一回戦と同じ大石の船着き。前半戦に勝負をかけましたが、またしても自分のへたくそさを実感し、前半戦釣果無し。

後半戦、またしても昨日の再現か? 田揚君早々に1枚掛け、万事休すか? そう思っていたところ、磯際2ヒロでウキが猛スピードで消え、来た! と思った瞬間、高切れ〜グレではなかったかもしれませんが今回の一番の反省点となりました。

こんな感じで今回のトーナメントは終了しました。

よくよく考えると、3位と言いながら二日間でグレ5枚しか釣ってないやん! この2日間、そうそうたるメンバーの中で釣りができて本当に刺激的で楽しかったです。次回はもっと頑張りたいと思いました。

最後に、今回の運営担当された京都府連盟の皆様、及び役員の方々のご尽力と川端渡船様・大ちゃん渡船様の安全運航に心より感謝申し上げます。本当に2日間有難うございました。

仕掛け ロッド：シマノISO LIMITED 1.0号
レール：シマノBB-X テクニウム2500
ウキ：ソルブレ スラッシュM/L 0~B
道糸：東レ ブラックマスター 1.75号
ハリス：東レ スーパーL EXハイパー 1~1.5号
ハリ：鬼掛 極軽 4~5号

第34回 日釣連グレ釣りトーナメント3位

三重県釣連盟 池戸 守



日釣連三十四回グレ釣りトーナメント大会に参加して

久し振りの日釣連グレ釣りトーナメントが尾鷲で開催して事で、チームハーツの東代表と一緒に参加でした。

受付済ませて乗り込んだのは、何時もの川端渡船さん。

ウネリの海に乗り出して、最終組で乗った磯は、尾崎の丸島 大阪の野尻さんと。ジャン拳負けて、船着から、激渋の釣りでウキ止で当り取って、何とか四枚で勝利。

二回戦は兵庫の西岡さんと。割亀のマナイタ、チヌで有名ですがグレも濃い磯、ジャン拳負けて湾奥向きへ。磯際水道狙いで四枚で勝利。

三回戦は京都の村中さん、一度負けた記憶が・・・荒れた時の頼みの綱。コンクリート船着で一枚、低場で三枚取って勝利。

何と二日目へ勝ち抜けでした。ホテルの部屋で明日の準備して懇親会前に若手トーナメンター達や東代表とトーナメント談議。これも大会の醍醐味で。

懇親会で引いたのは、六番 何と同じ三重釣連の

濱田君と同士討ち。どちらかが準決勝へ行けるんで、ま〜ヨシです。

二日目は大ちゃん渡船さんで小山のトーフへよじ登ってスタート。ジャン拳負けての沖向き、仕掛けが入りません。その横でグレ掛けまくる濱田君。潜り汐でポツリポツリと拾って終了三分前、ポーターの東代表からあと一枚釣らないと負けますの声。何とか八枚で十枚揃えた、濱田君に勝利。

準決勝はシードの和歌山土谷君 乗った磯は小山の奥。経験値の無い磯でジャン拳勝って歯車が狂い、ゼロ枚で惨敗。遣り切った感も決勝戦見てたら悔しさ沸々湧き出し。表彰式で豪華な賞品頂き尾鷲マイスターなんて二つ名迄頂戴して、まだまだ爺さんのトーナメン人生は続きます。何処かの港や釣り場で見掛けた時は声掛けて下さい。

